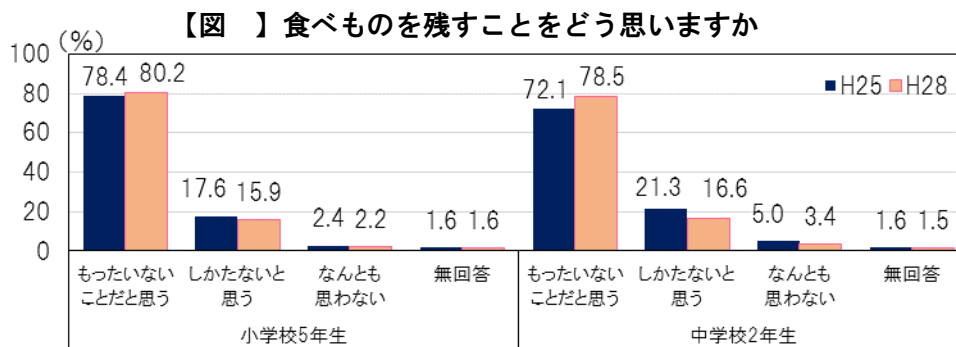


第3節 食の循環と地域の食を意識した食育

1 食への感謝の心

- 「食べ物を残すことをもったいないことだと思う児童生徒の割合」は、小学校5年生では3年前に比べて80.2%でほぼ横ばいですが、中学校2年生では78.5%と5ポイント以上増加しており、引きつづき現状を維持できるような取組が必要です。
- 感謝の心を育むためには、動植物の命をいただいていることや農業や生産者への理解を図るために、子ども達や消費者と生産者との交流や、市町村で取り組まれている農業小学校への参加、子ども達の収穫体験、学校給食との連携などが必要です。

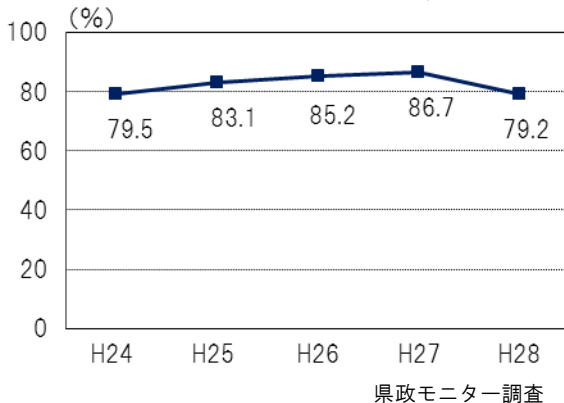


長野県教育委員会「平成28年度児童生徒の食に関する実態調査」

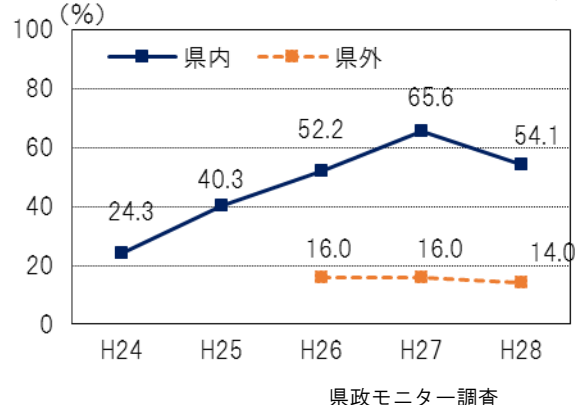
2 信州農畜産物への関心と地消地産の推進

- 「家庭で料理を作る際に、時々地元農産物を利用する割合」はほぼ横ばいに推移しています。
- 「おいしい信州ふーど（風土）の認知度」については、平成24年度と比較して増加しています。
- 農産物直売所の開設数は、概ね横ばいに推移しています。
- 学校給食における信州農畜産物の利用率は、学校関係者・流通関係者との連携・協力により増加しています。
- 「地消地産」についての県民の意識は高まっているものの、食料自給率については低下傾向であることから、引き続き県産農産物のPRを行うなど、利用につながる情報提供を継続して行う必要があります。

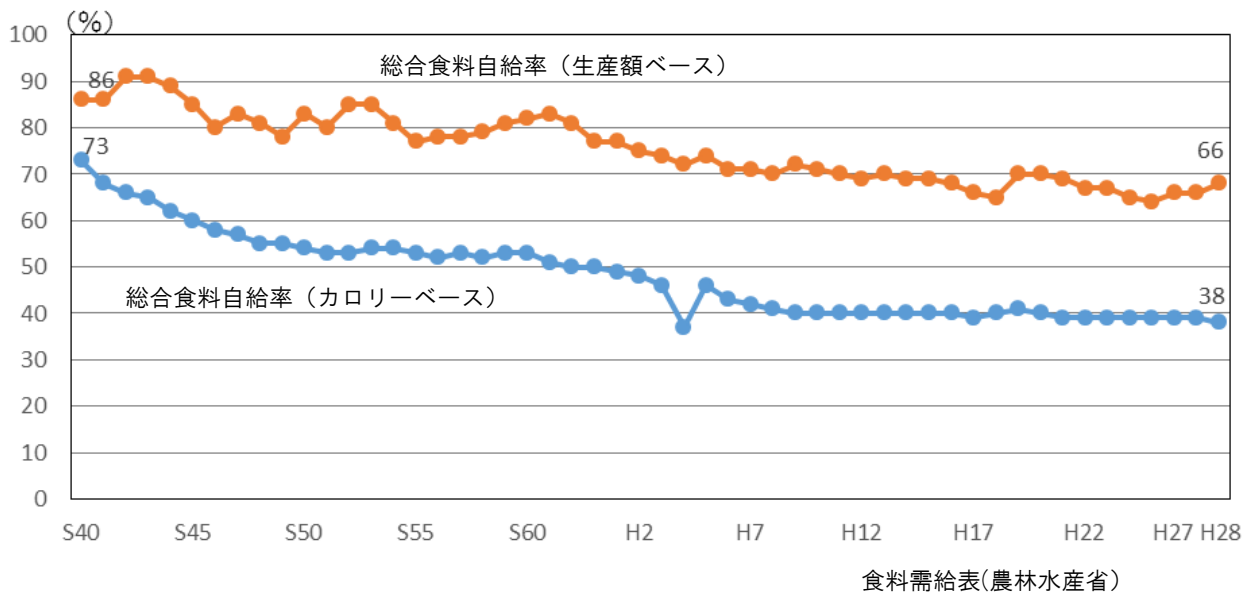
【図】 家庭で料理を作る際に、時々地元農産物を利用する割合



【図】 「おいしい信州ふーど（風土）」の認知度



【図】食料自給率の推移



【表】農産物直売所・学校給食での県産農産物利用率

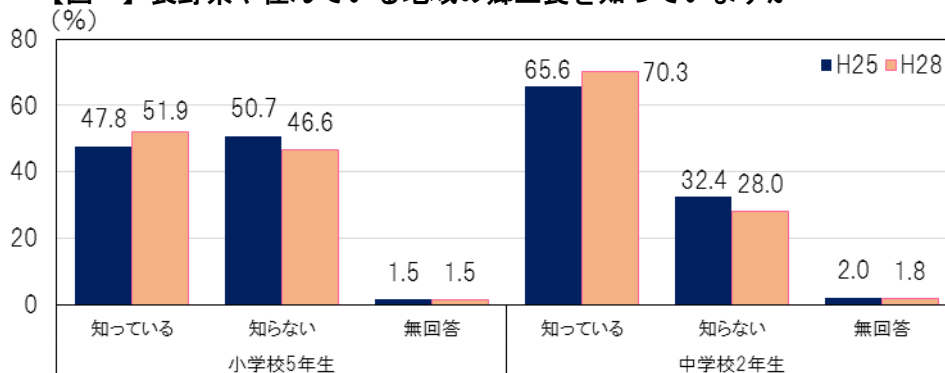
	平成 25.年	26 年	27 年	28 年
農産物直売所数（店）	827	809	788	805
学校給食での県産農産物利用率（%）	42.6	43.8	44.3	45.7

長野県農政部

3 食文化の継承

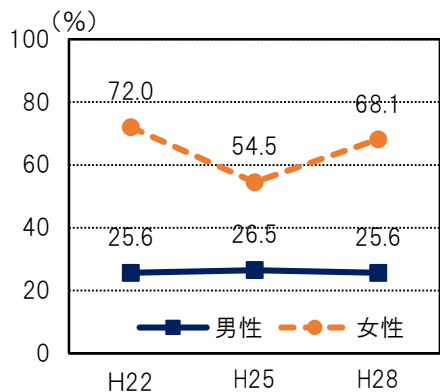
- 小学校5年生の 51.9%、中学生の 70.3%は、長野県や地域の郷土食を「知っている」という状況であり、平成 25 年度と比較するとそれぞれ 4 ポイント以上増加しています。
- 一方で「作ることができる郷土料理や伝統食が 1 種類以上ある県民の割合」については、変化は見られません。年代別では、20 歳代までの女性は少なく、男性はすべての年代において少なくなっています。
- 地域の食文化の継承のためには、若い世代や男性に対して、食育ボランティア等による郷土料理や地域の産物を使った料理の体験の場を提供していく必要があります。

【図】長野県や住んでいる地域の郷土食を知っていますか

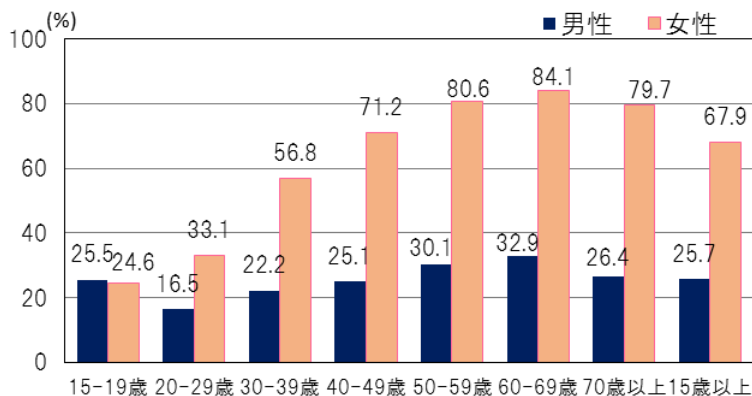


長野県教育委員会「平成 28 年度児童生徒の食に関する実態調査」

【図】 作ることができる郷土料理や伝統食が1種類以上ある県民の割合の推移（年齢調整平均値）



【図】 作ることができる郷土料理や伝統食が1種類以上ある人

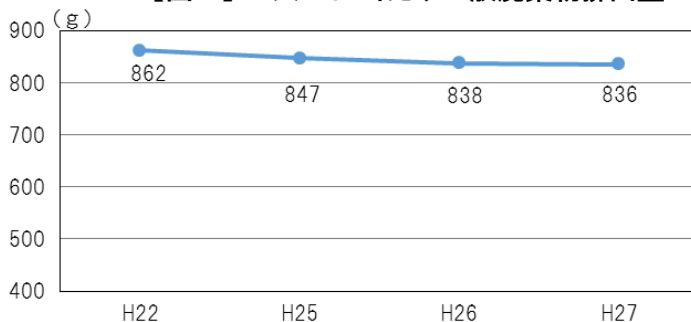


長野県「平成28年度県民健康・栄養調査報告」

4 環境への配慮と食品ロスを含む廃棄物の発生抑制

- 「1人1日当たり一般廃棄物排出量」については、平成22年度と比較して減少傾向にありますが、近年は横ばいの状況です。
- 「食べ残しを減らそう～e-プロジェクト～」協力店の店舗数について、平成28年度は、617店舗となり、平成25年度と比較して300店舗以上増加しました。
- 宴会・外食及び家庭から発生する食品ロスを含めた一般廃棄物排出量削減に向けて引き続き取組が必要です。

【図】 1人1日当たり一般廃棄物排出量



環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

【表】 食べ残しを減らそう協力店登録数

	平成25年	26年	27年	28年
「食べ残しを減らそう～e-プロジェクト～」協力店登録数(店舗)	279	289	440	617

長野県環境部

5 安全な食品の提供と食品表示

- 食品衛生法に基づき、長野県食品衛生監視指導計画を毎年度策定し、食品事業所への立入検査、流通食品等の食品検査等を実施し、食品の安全性の確保を図っています。
- 安心して消費者の皆様にも農産物を購入していただくために、生産段階においてGAP※（農業生産工程管理）への取組を推進しています。
- 県民が食品の安全性に関する情報を正しく理解し、適正に食品を選択する力を身に付けることができるよう、機会をとらえて普及啓発を行う必要があります。
- 県民が自分に必要な食品が選択できるように、食品には適正な表示が必要です。

【表】生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合

	平成 25.年	26 年	27 年	28 年
生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合(%)	15	19	20	23

長野県農政部